

TICAD9における経済産業省の成果及び取組（対アフリカ共創の展開）

アフリカとのビジネス連携、アフリカとの連結性強化（第三国等との連携）、日本の官民連携、などを通じ、アフリカの社会課題対応・資源確保・GX/DX等に応じた日本企業によるアフリカへの展開を一層支援し、対アフリカの新たな産業・ビジネス・経済協力関係を共に創る、「共創」を推進する。

1. アフリカとのビジネス連携・産業共創（日本×アフリカ）

アフリカ人材・企業等とのパートナーシップを活用し、日アフリカ連携により産業を創出

- ・ **日本アフリカ産業共創イニシアティブ**（アフリカ現地スタートアップ等との連携）
- ・ **AI・データ人材育成とアフリカ経済成長イニシアティブ**（アフリカAI人材活用）
- ・ 各国との協力文書の取り交わし
（ケニア）自動車分野の産業人材育成協力
（コートジボワール）ビジネス促進の共同声明
（南ア）脱炭素に向けた協力の共同声明

2. アフリカとの連結性強化（日本×第三国等）

第三国（インド、中東等）との連携を通じアフリカとの経済（貿易・投資等）関係の更なる展開

- ・ **インド洋・アフリカ経済圏イニシアティブ**（第三国連携によるアフリカ連携の推進、本年2月に「アフリカの持続可能な経済発展のための日印協カイニシアティブ」を提唱し、今回「インド洋・アフリカ経済圏フォーラム」を開催）
- ・ 鉱物資源のサプライチェーン強化（資源国への働きかけ）

3. ファイナンス等支援（日本の官民連携）

成長市場であるアフリカの社会課題解決・資源などに着目、日本の技術・サービスの展開を後押し

- ・ **日本貿易保険**と国際金融機関等との協力（プロジェクト等へのリスク支援）
- ・ **グローバルサウス事業**・AfDX（アフリカDX）事業（日本企業の展開支援）
- ・ 関西ビジネスフォーラムの開催（関西圏のアフリカビジネス展開促進）

アフリカにおける社会課題解決/資源確保/GX/DX/インフラ等の事業展開

具体的な日アフリカ経済・ビジネス協力の進展（協力署名文書等）

過去最高数となる合計約**324件**の協力署名文書が登録（別紙参考）

（署名文書披露式に総理・AU議長国等が立会い、ビジネスの具体的進展を後押し）

日本アフリカ産業共創イニシアティブ～Japan Africa Co-Creation for Industry (JACCI)～

日本企業とアフリカの先進技術企業・スタートアップの連携によるアフリカでのビジネスモデル構築

【背景】

- これまでの日本企業のアフリカ進出については、現地大企業や現地に精通する第三国企業と連携して実現してきたが、**過去のBOPビジネスのようにアフリカ内の（特に中間～低所得の）消費市場を正確に捉え、日本の技術・製品を導入していくには未だリスクが存在するのが現状。**
- 通常国においては、その消費市場は国営企業・民間大企業（銀行等）の活動によってある種のインフラとして整備・顕在化するものであるが、アフリカにおいてはこうした機能が限定的であり、結果として消費市場の形成が遅れているのではないかと。
- こうした中、この10年間で**現地先進技術企業・スタートアップ（su）の成長が目覚ましく、デジタル技術等を活用してこうした消費市場を整備・顕在化させることに成功しているところ（いわゆる「リープフロッグ」）**。こうした**進出余地のある市場があることが分かることで、日本企業のアフリカ進出を加速させることが可能ではないか。**
- 既に日本発のベンチャーキャピタル（vc）がこうした現地suに投資を進めており、こうした市場形成の状況とsuネットワークに十分な知見を有しているところ、こうした**vcや代表的なsuがアフリカ市場の「水先案内人」としての役割を發揮するスキームを構築することで、日本企業が連携し、その強み・ノウハウを活かしてアフリカ進出が加速されるのではないかと。**

◆ **日本企業の海外進出支援の経験やネットワーク、各国の現地制度・経済情勢の収集・共有を強みとするJETROが、日本VC等によるコンソーシアム（JACCI事務局）と連携し、日系を含む現地先進技術企業・SUとアフリカ進出にあたって有望な日本企業を繋ぎ育てることで、新たなビジネスモデルを構築し、投資を促進する。**この初期の資金的支援を経済産業省で行うとともに、JETROはJ-BRIDGEにJACCIを登録し、その事務局（日本VC等）と連携して日本企業支援を行うこととし、5月に設立。



AI・データサイエンスの人材育成とアフリカの経済成長イニシアティブ

▶ アフリカの今後の経済成長・発展に大きな可能性を秘めるAI/データサイエンス分野において、アフリカの若者の人材育成を支援し、その起業・現地企業及び日本企業との連携を支援することで、アフリカの産業創出及び競争力強化を支援するイニシアティブ。

1. 東大 松尾豊研究室によるAI・データサイエンスの人材育成

松尾研究室の人材育成講座である「グローバル消費インテリジェンス寄付講座（GCI）」をアフリカに展開。松尾研究室とJICAが繋がっているアフリカの各大学を連携し、今後3年で3万人の育成。

2. AI・データサイエンス人材のアフリカ産業（起業・現地企業雇用）への連携

こうしたAI/データサイエンス人材を、①国連開発計画（UNDP）との連携による起業支援、②日本企業と現地スタートアップとの連携でアフリカへのビジネス投資を促進する「日アフリカ産業共創イニシアティブ」（JETROのJ-Bridge傘下）を活用した現地企業雇用に繋げて、AI人材の現地産業への貢献を支援。

3. アフリカビジネスの拡大とDXによる競争力強化（投資促進による雇用規模・経済成長の拡大）

さらに、「日アフリカ産業共創イニシアティブ」の成果として生み出された日本企業の投資（現地法人や共同投資による工場等）とかかる人材を繋げ、現地の産業創出とAI活用による競争力強化を支援。

